

A1-HRD

Asian Waterworks Utilities Network of
Human Resources Development
アジア水道事業体人材育成ネットワーク



A1(A WUN)-HRDとは

A1-HRDは、正式名称を「アジア水道事業体人材育成ネットワーク」といい、平成19年に東京都水道局が提案し、発足したものです。

アジア諸都市の水道事業体が、人材育成に関する知識やノウハウについて情報交換を行い、アジア全体の水道事業レベルアップに寄与することを目的として活動しています。

略称である「A1-HRD」は、正式名称の各単語の頭文字「A WUN HRD」に由来します。「WUN」の部分が発音が似ている「1 (ONE)」とし、「人材育成に関するネットワークとして、アジアでNO. 1になる！」という思いも込めました。

Asian Waterworks Utilities Network of Human Resources Development



活動内容

■ 情報交換

ウェブサイトの運営やニュースレターの発行などを通じて、参加事業体の人材育成に関する取組やノウハウ等について情報交換しています。

● ウェブサイト

過去に開催された会議のレポートを閲覧することができます。



URL:

<https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/suido/jigyo/torikumi/kkcenter/kkc05/kkc05b.html>

● ニュースレター

事務局が発行し、メンバーに送付します。



■ 会議開催

アジア諸都市の水道事業体が、研修など人材育成に関する課題を持ち寄り、それらに対する解決策を相互に検討するために、会議を毎年開催しています。

過去の会議

平成20年 第1回（日本・東京）「人材育成」 事業のレベルアップを図るため、協力関係を維持し、人材育成に取り組むことを確認しました。
平成21年 第2回（韓国・ソウル）「人材育成」 各事業体の人材育成の方向性や取り組んでいる最新のプログラムが紹介されました。
平成22年 第3回（台湾・台北）「人材育成」 研修講師の士気の高め方等、人材育成に関連した課題について意見が交わされました。
平成23年 第4回（日本・東京）「技術の継承」 国際水協会アジア太平洋地域会議のワークショップとして開催。 今後の運営方針やネットワークの活動目的について議論が行われました。
平成24年 第5回（台湾・高雄）「無収入水管理」 初の試みとして技術的テーマを設定しました。
平成25年 第6回（韓国・大田）「エキスパートの育成プログラム」 各事業体の共通課題であるエキスパートの育成について、活発な議論が交わされました。
平成26年 第7回（タイ・バンコク） 「水道水の信頼性を高める取組」「技術的優良事例の紹介」初の試みとして2つのテーマを設定しました。
平成27年 第8回（日本・東京）「人材育成」 初の試みとして東京の多摩地区で開催しました。メンバーシップポリシーが制定されました。
平成28年 第9回（韓国・ソウル） 「危機管理強化に向けた人材育成」、「環境に配慮した水道事業と人材育成」活発な議論が行われました。
平成29年 第10回（台湾・台中）「安全な水の確保に向けた水質監視・調査と人材育成」、 「給水管理高度化に向けたIT技術の活用と人材育成」 技術と人材育成を絡めた取組が紹介されました。
平成30年 第11回（日本・東京） 「水道事業に必要な人材の配置と育成方針」、「国際的な人材の確保と育成」 IWAと同時期に開催されました。
令和元年 第12回（タイ・バンコク） 「IT技術の進展に伴う人材育成の転換」、「職員育成における人材育成部門とラインマネージャーとの連携」
令和2年 第13回（オンライン）初のオンライン開催 「水道教育プログラム：実践的な学習による現場対応力の向上」、「お客さまから信頼を得るための人材育成」
令和3年 第14回（オンライン） 「持続可能な水道事業の実現に向けた人材育成」、「レジリエンスの実装に関する課題と解決策」
令和4年 第15回（オンライン） 「安定給水に向けた人材育成」、「時間や場所に捉われない労働環境づくり」
令和5年 第16回（日本・東京）初の対面とオンラインの併用開催により、全メンバー参加 「水道システム強靱化のための人材育成」、「高いコンプライアンス意識を持続するための取組」
令和6年 第17回（韓国・華城、安山） 「環境保全と良好な事業経営との両立のための人材育成」、「水道事業におけるDXに向けた人材育成の工夫」
令和7年 第18回（タイ・バンコク） 令和7年10月29日（水）、30日（木） 「様々な危機対策における人材育成」、「人材管理：水道事業における人材の能力を引き出し活用する方法」

令和8年 第19回会議

台湾自來水公司（TWC）が開催事業体となり、10月に開催予定です。

テーマは、

- ①「AIを活用した水道業務とお客さまサービスのデジタルトランスフォーメーション（DX）やスマートトランスフォーメーション（業務改革）とそれを担う人材」
- ②「技術継承及び技術力を強化するための人材育成の取組について」

メンバー

バングラデシュ

ダッカ市上下水道公社（DWASA）

日本

東京都水道局

韓国

韓国水資源公社（K-water）

ソウル特別市上水道事業本部（Seoul Water）

台湾

台北自來水事業處（TWD）

台湾自來水公司（TWC）

タイ

バンコク首都圏水道公社（MWA）

※アルファベット順

オブザーバー

日本

東京水道株式会社

マカオ

澳門自來水股份有限公司

（マカオ・ウォーター）

モンゴル

ウラバートル市住宅公共事業公社

モンゴル水管理調査センター（WMRC）

※アルファベット順

事務局（お問い合わせ先）

東京都水道局 研修・開発センター 研修課

住所：〒158-0085 東京都世田谷区玉川田園調布一丁目19-1

電話：+81-3-5483-3507

FAX：+81-3-5483-2639